

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名	県営かんがい排水事業		路河川名等	-				
事業毎の通番	1	市町村名	小諸市ほか4市町	箇所名(ふりがな)	立科幹線(たてしなかんせん)			
事業目的	本地区は、年間降水量が1,000mm程度の寡雨地域に位置しており、農業に必要な用水を蓼科山の水源地に求め、約30kmの幹線水路で導水することによって営農してきた地域である。現在の水利施設は、主に昭和34年から昭和46年にかけて県営農業水利改良事業により整備された施設であるが、築造から40年以上が経過し、頭首工の機能低下や、水路の老朽化によるひび割れ、目地材の剥落等による漏水が著しく、必要水量が確保できない状況となっている。また、老朽化した施設とともに、未改良の水路もあり、日常の用水管理や洪水時の操作等を行う土地改良区の負担となっている。このため、水利施設の補修・更新を行い、用水の安定供給と維持管理労力の軽減を図ることを目的とする。							
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	事業実施の根拠法令等	土地改良法					
関連する事業、計画等	第3期長野県食と農業農村振興計画、第8次長野県土地改良長期計画、長野県強靱化計画							
保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積: 1,537ha							
着手年度	2019年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	2025年度	費用対効果	1.2	国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	頭首工 N=6箇所 水路工 L=11.0km ため池補修工 N=1箇所			1,625,000	812,500	406,250	365,000 41,250	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物の生産性向上[農業用水の確保による農作物の収量等の生産性向上] 維持管理の軽減[管理道路の整備、山腹水路の蓋設置等による施設の維持管理軽減]						
	間接的効果(定量的・定性的)	災害の防止(用水路からの漏水や溢水による災害を防止) 耕作放棄地の発生抑制(用水の安定供給による耕作放棄地の発生抑制)						
評価の視点	必要性	○受益戸数 : 3,171戸 ○受益農地面積 : 1,537ha(小諸市、佐久市、立科町、上田市、東御市) ○地域用水機能 : 防火用水機能あり					評価	A
	重要性	○用水不足、排水不足 : 受益地全体の用水に影響 ○関連計画、重要施策との整合 : 第3期長野県食と農業農村振興計画、第8次長野県土地改良長期計画、長野県強靱化計画 ○人・農地プラン : 作成済み ○日本型直接支払制度 : 多面的機能支払の活動組織あり					評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.28 ○事業期間 : 7年間(2019~2025) ○工法等の比較検討 : 頭首工の工法検討あり(溪流取水工)					評価	A
	緊急性	○近年の自然災害 : 渇水による農業への影響が毎年発生 ○現況排水能力 : 通水断面の70%未満 ○用水状況 : 頭首工及び幹線水路の老朽化(一部路線は未改良)					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係土地改良区、市町村等の関係者に説明済み ○地域の取り組み : 地域からの要望による事業計画 ○地域の合意形成 : 事業目的や事業概要について合意形成済み ○住民との協働 : 関係土地改良区や多面的機能支払の活動組織による維持管理					評価	B
	所管課意見	当施設は、降水量の少ない広範囲の受益地に農業用水を供給する基幹的農業水利施設であるが、老朽化による機能低下により安定した供給ができないため、早期に改修する必要がある。				採択状況	○	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							

位置図

立科幹線地区

詳細は別紙のとおり

現況

▶漏水や取水不良、河川流量の不足による渇水被害の発生

必要水量
取水量
不足分
5/1 8/21
【必要水量が取水できない状況】

現況

▶落石による通水阻害、維持管理の負担大

▶管路の老朽化による漏水、木根による通水阻害、落石による通水阻害

【立科1号幹線】
【立科2号幹線】

概要図

立科1号幹線L=9.7km
立科2号幹線L=6.1km
立科3号幹線L=6.1km
御牧ヶ原1号幹線L=12.0km
塩沢堰L=7.0km
女神湖
御牧ヶ原1号幹線L=12.0km
立科町、東御市、上田市 受益面積 A= 1015 ha
小諸市、東御市、佐久市 受益面積 A= 522 ha

現況

▶未整備区間の維持管理に係る負担の増

【塩沢堰(疏水百選)】

- 崩落する山腹水路
- 管理道がなく管理作業に苦慮

計画

地域の景観・環境と、歴史的重要性に配慮した整備

空石積(現場集積材)
φL=900mm(最大径110cm)
2,000
1,500
2,000
遊水シート(L1.5m)

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	現在の水利施設は、主に昭和34年から昭和46年にかけて県営農業水利改良事業により整備された施設であるが、築造から40年以上が経過し、頭首工の機能低下や、水路の老朽化によるひび割れ、目地材の剥落等による漏水が著しく、必要水量が確保できない状況となっている。また、老朽化した施設とともに、未改良の水路もあり、日常の用水管理や洪水時の操作等を行う土地改良区の負担となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	施設の老朽化による恒常的な水不足に加え、近年、異常気象に伴う干ばつが多く発生している。特に平成25年度の干ばつ時は農業用水の確保に大変苦慮し、その対応時において、農業者及び関係自治体から農業用水の安定確保のための対策について県へ要望があり、県、関係自治体、土地改良区にて御牧原農業水利事業検討会を立ち上げ、国庫補助事業による対応に向けた調査を開始した。
③事業説明等の経緯	事業実施に向け、調査結果を基に受益者である北佐久郡川西土地改良区連合(5土地改良区)及び関係自治体(5市町)に対する説明会を行い、改修整備の実施と地元負担金の徴収について了解を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第3期長野県食と農業農村振興計画、第8次長野県土地改良長期計画、長野県強靱化計画等に基づき、農業水利施設の長寿命化、重要構造物の改修等を行うことで、農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	塩沢堰は「疏水百選」に選定されている歴史的水路であり、江戸時代に整備された石積水路の区間は、歴史的重要性に配慮し現地発生材により整備する。また、土水路の改修に当たっては、地域の景観や自然環境に配慮し、谷側のみを石積みにするなど改修の影響を極力抑える。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設の改修を行うことにより、農業用水が安定確保されるとともに、農業者の維持管理負担の軽減が図られるため、受益地内の農業生産が継続される。
⑦その他	【過去の事業評価地区の意見の反映】 環境配慮: 疎水百選の区間は、歴史的重要性・景観に配慮する

事業代表地点の緯度経度	北緯: N 36° 6' 06"
	東経: E 138° 15' 40"